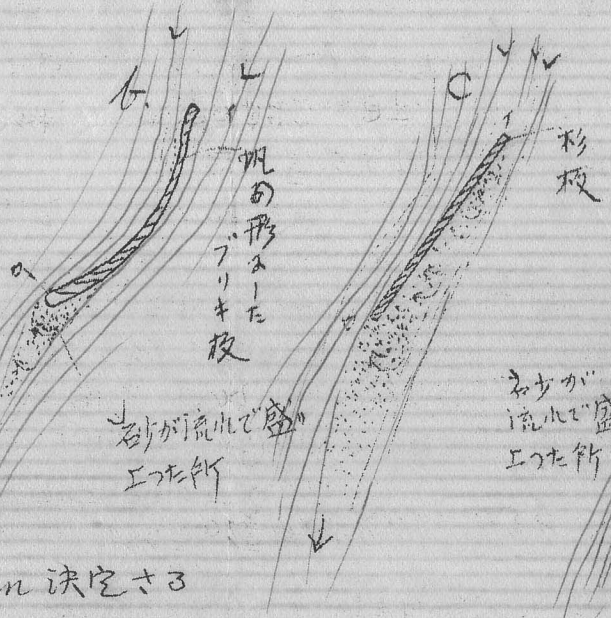
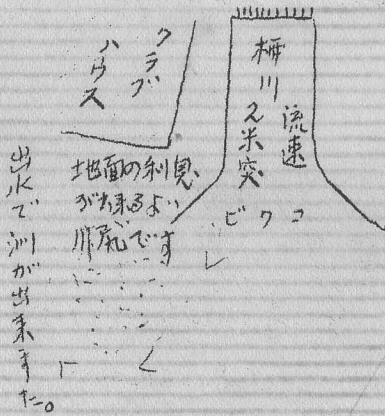


§1. 榊川 Aero-dynamic 実験場 開設の事. 豫め其筋は出航中の流体動力学実験場は氣力が梅雨の増水した新榊川尻の期せおに 21日五月1933に開場式を行つた
所長はスワン儀 鈴木英君. 早速、新船庫建築の際、ブリキ屋の置いで行つたブリキの切ハン
と板取れで 第一回の experiments を所長自ら行ひたり その昂然たる report、概略下の如し
詳細は所長よりつぎの照会を乞ふ

a. 実験場の位置

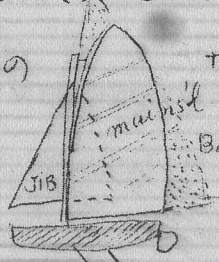


A. の位りの圧力差
C. の位りの圧力差
及
A+B+C > C+A+C
この実験の外前帆を
main sail
の如くして置いた時の
Stream line の整
流と亂流及 drive
の差の実験を行つた

§2. おせ流の sail plan 決定の事

宮崎氏宿願のダイナミック sail は種々研究の結果下の如く決定 sail plan

早の旧帆を改作の



ため帆屋に注文せらる。 Batten (transverse) といふ旧セールのムダな所を切りました所其理由は上記の実験を見られたり。

mail.	12'	18'	19.5'
Jib	9'	9'	9'

(この方が銀行で書いてあるので不十分です)

これで overlapping jib と前年度の優勝艇 sail in 子とシースさせます。面白いのはこの方です。よからたら全部改良するでせう。

§3. なかなか仕事の多い Yacht Club. 雨天でクラブは満員の盛況です。雨で水を見みきかなり。

1. sail の数字は A の一方側と 旧の丸 (これは宮崎氏自費で作って下さりました) をつけることが残つておます 各艇で次の28日やつて下さ。 A の型が破れおいた宮崎氏で作って下さ。
2. rail (旧船庫南1番線) 同友社のオウチ市販の (新船庫 中央線) 中塚宮崎各 (2番線) 吉本井上安田氏の諸子で (3番線) 鈴木上林安盛の諸子で

各々責任を持ってやつて下さいますか

§4. ボート、ボート ムツカシの件. 大津の船屋は目下シーズンでどこも多忙、はなりのアライです。決定が一週間おくれました。旧艇の進水込みは出来るでせう。

§5. 雨かみ達の桐油占夕入甲の件. 墨で書いたセル数字がハゲヌ様塗布する必要あり 牽込へつて下さるのは鈴木さんにお任せしました dryer でよいのです。

§6. 石油ランプが憧れの的 榊川尻ではランプがハバヲキカをマス。どなたか御立話、出来ることなら買って持って来て下さいますか。

§7. 基本 Yacht 講座は来る 28日午前10時より2時迄開設。以後毎日曜日は。担任者鈴木英。

§8. ペンキ刷子、茶のみが使たまひなつて次に使用出来る状態に放置せられておます。茶づきの方は大事に洗つて下さ。海綿も同様です。(これは御用金を買つて下さるべきです) (皆さんからよろしく)

§9. 上田 manager は sail に雨がかいつて黒くなる様にするのに市販のをかけて下さる